

外交攻勢で対米優位狙う

中国の習近平国家主席は、昨年 of 共産党大会での総書記3期目続投、新型コロナウイルス流行の収束といった国内での「勝利」を背景に、外交攻勢に打って出ている。最大の目的は対米関係を優位に展開するための国際環境構築にあり、ロシアは対米けん制の重要な駒だ。中国はイランとサウジアラビアの関係正常化を仲介し、評価が高まる中でのロシア訪問となった。

ウクライナ問題での仲介役として存在感を示す狙いもある。ただ中国の姿勢は対話による解決で、ロシア軍の完全撤退を求めるウクライナが応じる可能性は極めて低い。中国の最高指導者には失敗という筋書きはない。積極的な仲介姿勢を見せ米国をけん制するという最低ラインの成果は、訪問で確保できる。今後、中国ウクライナ首脳会談を形だけでも実現させられれば、中国外交にとって大勝利を収めたことにするだろう。

2023年03月21日 19:06 (共同)